２０２６年１１月２６日

さいたま市における異業種からの農業参入支援について

武蔵野銀行（頭取　長堀　和正）は、２０２６年１１月、株式会社Ｍｉｄａ－Ｍｅｄａｌｉｓｔ　Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ（マイダメダリストインターナショナル、代表取締役 長谷川 計、以下「マイダ社」）によるさいたま市での農業新規参入を支援いたしましたので、お知らせします。

マイダ社はさいたま市桜区を拠点にダーツマシン・ダーツボード等の製造販売、リース・レンタル事業を手掛けている企業です。日本や海外でダーツ大会を開催するなど、イベントの企画・運営にも取組んでいます。こうした経験を活かし、地域の方々が楽しめる観光農園の実現を目指して、いちご栽培への新規参入を計画しておりました。

当行ではこうしたマイダ社の挑戦を後押しするため、農地の選定・確保に向けた行政機関との調整や、「認定新規就農者」[注1]の認定に必要な事業計画策定を支援いたしました。
また、栽培用ハウス等の設備資金について、さいたま市の「休耕地等スマート農業補助金」[注2]の活用を支援するとともに、日本政策金融公庫との協調融資を組成するなど、事業の構想段階から資金調達まで一体的なサポートを展開しています。

当行では今後も、販売先の紹介やプロモーション、栽培に関する情報提供などの伴走支援を行い、同社が目指す観光農園の実現を応援してまいります。

≪概要≫

支援企業名		株式会社Ｍｉｄａ－Ｍｅｄａｌｉｓｔ　Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ		
代表者		代表取締役　長谷川　計		
本社所在地		さいたま市桜区下大久保９７		
設立		２００３年１０月	資本金	１，０００万円
事業内容		・ダーツマシン・ダーツボード等の製造販売、リース・レンタル ・ダーツ大会等各種イベントの企画・運営		
農業参入概要	栽培地	さいたま市西区宝来		
	面積	約８，０００㎡		
	作物	いちご		

注１　新たに農業を始める個人・法人が作成する「青年等就農計画」を市町村が認定し、経営開始を支援する制度です。
経営開始資金の交付や制度融資・補助金といった支援を受けることができます。
注２　さいたま市内の休耕地等に高度な環境制御型の栽培施設システムを導入し、収益性の高い農業に取組む農業法人を支援する補助金事業です。

以　上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 羽鳥 達也、近藤 二三子
ＴＥＬ（048）641 - 6111（代）